

令和8年度男子バドミントン部の指導方針等について

令和8年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	吉川 扶			
副顧問	小田嶋 大暉			
副顧問	市石 学			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
東京都高等学校体育連盟主催の団体戦および個人戦、農業六校大会等種々の大会での上位入賞を目指して日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
主に長期休業中、競技力を高めるため練習試合を行う。このほか、夏季及び冬季に開催される農業六校大会、高体連主催の大会などへ積極的に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、日々の授業に積極的に参加することのほか、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	東京都高体連春季バドミントン大会兼関東大会都予選大会（団体）
	5	東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会予選大会 兼国民体育大会選考会予選（個人）
	6	東京都高等学校総合体育大会 兼全国高等学校総合体育大会都予選大会（団体） 農業六校大会①
	8	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会 兼関東選抜大会都予選大会（個人）
2 学期	9	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会 兼関東選抜大会都予選大会（個人）
	11	東京都高等学校バドミントン新人大会 兼全国高等学校選抜大会都予選大会（団体）
	12	農業六校大会②
3 学期	1	東京都高等学校バドミントン冬季ブロック大会（団体）
	2	国公立大会
	3	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅱ部西ブロック大会（個人）